

厚生労働省発老第0303001号
平成20年3月3日

社会保障審議会
会長 貝塚 啓明 殿

厚生労働大臣
舛添 要一

諮問書

(療養病床から転換した介護老人保健施設に係る介護報酬改定等について)

介護保険法（平成9年法律第123号）第41条第5項、第48条第3項（介護保険法施行法（平成9年法律第124号）第13条第4項において準用する場合を含む。）及び第53条第3項並びに第78条の4第3項、第88条第3項及び第97条第4項の規定に基づき、指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（平成12年厚生省告示第19号）、指定施設サービス等に要する費用の額の算定に関する基準（平成12年厚生省告示第21号）、指定介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準（平成18年厚生労働省告示第127号）、指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準（平成18年厚生労働省令第34号）、介護老人保健施設の人員、施設及び設備並びに運営に関する基準（平成11年厚生省令第40号）及び指定介護療養型医療施設の人員、設備及び運営に関する基準（平成11年厚生省令第41号）を別紙のとおり改正することについて、貴会の意見を求めます。

介護報酬単位の見直し案

(変更点は下線部)

現 行	改 正 案																												
<p>○指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（平成十二年厚生省告示第十九号）</p> <p>一 指定居宅サービスに要する費用の額は、別表指定居宅サービス介護給付費単位数表により算定するものとする。</p> <p>二 指定居宅サービスに要する費用（別表中短期入所療養介護に係る緊急時施設療養費（特定治療に係るものに限る。）及び特定診療費として算定される費用を除く。）の額は、別に厚生労働大臣が定める一単位の単価に別表に定める単位数を乗じて算定するものとする。</p> <p>三 前二号の規定により指定居宅サービスに要する費用の額を算定した場合において、その額に円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てて計算するものとする。</p> <p>別表 指定居宅サービス介護給付費単位数表</p> <p>9 短期入所療養介護費</p> <p>イ 介護老人保健施設における短期入所療養介護費</p> <p>(1) 介護老人保健施設短期入所療養介護費</p> <table border="1" data-bbox="280 1117 1133 1372"> <tr> <td colspan="2"><u>(一) 介護老人保健施設短期入所療養介護費(I)</u></td> </tr> <tr> <td>a 経過的要介護</td> <td>558単位</td> </tr> <tr> <td>b 要介護1</td> <td>732単位</td> </tr> <tr> <td>c 要介護2</td> <td>781単位</td> </tr> <tr> <td>d 要介護3</td> <td>834単位</td> </tr> <tr> <td>e 要介護4</td> <td>888単位</td> </tr> <tr> <td>f 要介護5</td> <td>941単位</td> </tr> </table> <p>(二) 介護老人保健施設短期入所療養介護費(II)</p>	<u>(一) 介護老人保健施設短期入所療養介護費(I)</u>		a 経過的要介護	558単位	b 要介護1	732単位	c 要介護2	781単位	d 要介護3	834単位	e 要介護4	888単位	f 要介護5	941単位	<p>○指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準（平成十二年厚生省告示第十九号）</p> <p>一 指定居宅サービスに要する費用の額は、別表指定居宅サービス介護給付費単位数表により算定するものとする。</p> <p>二 指定居宅サービスに要する費用（別表中短期入所療養介護に係る緊急時施設療養費（特定治療に係るものに限る。）及び特別療養費並びに特定診療費として算定される費用を除く。）の額は、別に厚生労働大臣が定める一単位の単価に別表に定める単位数を乗じて算定するものとする。</p> <p>三 前二号の規定により指定居宅サービスに要する費用の額を算定した場合において、その額に円未満の端数があるときは、その端数金額は切り捨てて計算するものとする。</p> <p>別表 指定居宅サービス介護給付費単位数表</p> <p>9 短期入所療養介護費</p> <p>イ 介護老人保健施設における短期入所療養介護費</p> <p>(1) 介護老人保健施設短期入所療養介護費</p> <p><u>(一) 介護老人保健施設短期入所療養介護費(I)</u></p> <table border="1" data-bbox="1265 1109 2089 1364"> <tr> <td colspan="2"><u>a 介護老人保健施設短期入所療養介護費(i)</u></td> </tr> <tr> <td>i 経過的要介護</td> <td>558単位</td> </tr> <tr> <td>ii 要介護1</td> <td>732単位</td> </tr> <tr> <td>iii 要介護2</td> <td>781単位</td> </tr> <tr> <td>iv 要介護3</td> <td>834単位</td> </tr> <tr> <td>v 要介護4</td> <td>888単位</td> </tr> <tr> <td>vi 要介護5</td> <td>941単位</td> </tr> </table> <p><u>b 介護老人保健施設短期入所療養介護費(ii)</u></p>	<u>a 介護老人保健施設短期入所療養介護費(i)</u>		i 経過的要介護	558単位	ii 要介護1	732単位	iii 要介護2	781単位	iv 要介護3	834単位	v 要介護4	888単位	vi 要介護5	941単位
<u>(一) 介護老人保健施設短期入所療養介護費(I)</u>																													
a 経過的要介護	558単位																												
b 要介護1	732単位																												
c 要介護2	781単位																												
d 要介護3	834単位																												
e 要介護4	888単位																												
f 要介護5	941単位																												
<u>a 介護老人保健施設短期入所療養介護費(i)</u>																													
i 経過的要介護	558単位																												
ii 要介護1	732単位																												
iii 要介護2	781単位																												
iv 要介護3	834単位																												
v 要介護4	888単位																												
vi 要介護5	941単位																												

a	經過的要介護	617單位
b	要介護 1	831單位
c	要介護 2	880單位
d	要介護 3	933單位
e	要介護 4	987單位
f	要介護 5	1,040單位

i	經過的要介護	617單位
ii	要介護 1	831單位
iii	要介護 2	880單位
iv	要介護 3	933單位
v	要介護 4	987單位
vi	要介護 5	1,040單位

(二) 介護老人保健施設短期入所療養介護費(II)

a 介護老人保健施設短期入所療養介護費(i)

i	經過的要介護	558單位
ii	要介護 1	732單位
iii	要介護 2	837單位
iv	要介護 3	890單位
v	要介護 4	944單位
vi	要介護 5	997單位

b 介護老人保健施設短期入所療養介護費(ii)

i	經過的要介護	617單位
ii	要介護 1	831單位
iii	要介護 2	936單位
iv	要介護 3	989單位
v	要介護 4	1,043單位
vi	要介護 5	1,096單位

(三) 介護老人保健施設短期入所療養介護費(III)

a 介護老人保健施設短期入所療養介護費(i)

i	經過的要介護	558單位
ii	要介護 1	732單位
iii	要介護 2	810單位
iv	要介護 3	863單位
v	要介護 4	917單位
vi	要介護 5	970單位

b 介護老人保健施設短期入所療養介護費(ii)

i	經過的要介護	617單位
ii	要介護 1	831單位
iii	要介護 2	909單位
iv	要介護 3	962單位
v	要介護 4	1,016單位

(2) ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費

(一) ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅰ)

a 経過的要介護	624単位
b 要介護1	834単位
c 要介護2	883単位
d 要介護3	936単位
e 要介護4	990単位
f 要介護5	1,043単位

(二) ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅱ)

a 経過的要介護	624単位
b 要介護1	834単位
c 要介護2	883単位
d 要介護3	936単位
e 要介護4	990単位
f 要介護5	1,043単位

vi 要介護5 1,069単位

(2) ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費

(一) ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅰ)

a ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(i)

i 経過的要介護	624単位
ii 要介護1	834単位
iii 要介護2	883単位
iv 要介護3	936単位
v 要介護4	990単位
vi 要介護5	1,043単位

b ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(ii)

i 経過的要介護	624単位
ii 要介護1	834単位
iii 要介護2	883単位
iv 要介護3	936単位
v 要介護4	990単位
vi 要介護5	1,043単位

(二) ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅱ)

a ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(i)

i 経過的要介護	624単位
ii 要介護1	834単位
iii 要介護2	939単位
iv 要介護3	992単位
v 要介護4	1,046単位
vi 要介護5	1,099単位

b ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(ii)

i 経過的要介護	624単位
ii 要介護1	834単位
iii 要介護2	939単位
iv 要介護3	992単位
v 要介護4	1,046単位
vi 要介護5	1,099単位

(三) ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅲ)

a ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費(i)

i 経過的要介護	624単位
----------	-------

(3) 特定介護老人保健施設短期入所療養介護費（1日につき）

760単位

注1 (1)及び(2)について、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合し、かつ、別に厚生労働大臣が定める夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を満たすものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設である指定短期入所療養介護事業所（指定居宅サービス基準第142条第1項に規定する指定短期入所療養介護事業所をいう。以下同じ。）において、指定短期入所療養介護（指定居宅サービス基準第141条に規定する指定短期入所療養介護をいう。以下同じ。）を行った場合に、当該施設基準に掲げる区分及び別に厚生労働大臣が定める基準に掲げる区分に従い、利用者の要介護状態区分に応じて、それぞれ所定単位数を算定する。ただし、当該夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を満たさない場合は、所定単位数の100分の97に相当する単位数を算定する。なお、利用者の数又は医師、看護職員、介護職員、理学療法士若しくは作業療法士の員数が別に厚生労働大臣が定める基準に該当する場合は、別に厚生労働大臣が定めるところにより算定する。

ii 要介護1	834単位
iii 要介護2	912単位
iv 要介護3	965単位
v 要介護4	1,019単位
vi 要介護5	1,072単位

b ユニット型介護老人保健施設短期入所療養介護費（ii）

i 経過的要介護	624単位
ii 要介護1	834単位
iii 要介護2	912単位
iv 要介護3	965単位
v 要介護4	1,019単位
vi 要介護5	1,072単位

(3) 特定介護老人保健施設短期入所療養介護費（1日につき）

760単位

注1 (1)及び(2)について、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合し、かつ、別に厚生労働大臣が定める夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を満たすものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設である指定短期入所療養介護事業所（指定居宅サービス基準第142条第1項に規定する指定短期入所療養介護事業所をいう。以下同じ。）において、指定短期入所療養介護（指定居宅サービス基準第141条に規定する指定短期入所療養介護をいう。以下同じ。）を行った場合に、当該施設基準に掲げる区分及び別に厚生労働大臣が定める基準に掲げる区分に従い、利用者の要介護状態区分に応じて、それぞれ所定単位数を算定する。ただし、当該夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を満たさない場合は、所定単位数の100分の97に相当する単位数を算定する。なお、利用者の数又は医師、看護職員、介護職員、理学療法士若しくは作業療法士の員数が別に厚生労働大臣が定める基準に該当する場合は、別に厚生労働大臣が定めるところにより算定する。

※ 別に厚生労働大臣が定める施設基準の内容は次のとおり。

- 介護老人保健施設短期入所療養介護費（Ⅰ）
 - ・ 現行の介護老人保健施設短期入所療養介護費と同様。
- 介護老人保健施設短期入所療養介護費（Ⅱ）又は介護老人保健施

設短期入所療養介護費(Ⅲ)

- ・ 平成18年7月1日から平成24年3月31日までの間に病床の転換を行って開設した介護老人保健施設である短期入所療養介護事業所であること。
- ・ 算定日が属する月の前3月間において、利用者及び当該介護老人保健施設入所者のうち、「経管栄養」若しくは「喀痰吸引」を実施している者の割合が15%以上又は「認知症高齢者の日常生活自立度判定基準」におけるランクMに該当する者の割合が〇%以上であること。

(介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅲ)は40人以下の施設のみ算定可。)

※ 別に厚生労働大臣が定める夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準の内容は次のとおり。

- 介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅰ)
 - ・ 現行の介護老人保健施設短期入所療養介護費と同様。
- 介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅱ)
 - ・ 介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅰ)の基準を満たしていること。
 - ・ 利用者の数を41で除して得た数以上の夜勤を行う看護職員を配置していること。
- 介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅲ)
 - ・ 介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅰ)の基準を満たしていること。
 - ・ 看護職員により、又は病院、診療所若しくは訪問看護ステーションとの連携により、夜勤時間帯を通じて連絡体制を整備し、かつ、必要に応じて診療の補助を行う体制を整備していること。

注：ユニット型においても同様の施設基準

2 (3)について、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合し、かつ、別に厚生労働大臣が定める夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を満たすものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設である指定短期入所療養介護事業所において、利用者（別に厚生労働大臣が定めるものに限る。）に対して、日中のみの指定短期入所療養介護を行った場合に、所定単位数を算

2 (3)について、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合し、かつ、別に厚生労働大臣が定める夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を満たすものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設である指定短期入所療養介護事業所において、利用者（別に厚生労働大臣が定めるものに限る。）に対して、日中のみの指定短期入所療養介護を行った場合に、所定単位数を算

定する。ただし、当該夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を満たさない場合は、所定単位数の100分の97に相当する単位数を算定する。なお、利用者の数又は医師、看護職員、介護職員、理学療法士若しくは作業療法士の員数が別に厚生労働大臣が定める基準に該当する場合は、別に厚生労働大臣が定めるところにより算定する。

- 3 (2)について、別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たさない場合は、1日につき所定単位数の100分の97に相当する単位数を算定する。
- 4 別に厚生労働大臣が定める基準に適合しているものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設については、リハビリテーション機能強化加算として、1日につき30単位を所定単位数に加算する。
- 5 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設において、日常生活に支障をきたすおそれのある症状又は行動が認められることから介護を必要とする認知症（法第8条第16項に規定する認知症をいう。以下同じ。）の利用者に対して指定短期入所療養介護を行った場合は、1日につき76単位を所定単位数に加算する。
- 6 利用者の心身の状態、家族等の事情等からみて送迎を行うことが必要と認められる利用者に対して、その居宅と指定短期入所療養介護事業所との間の送迎を行う場合は、片道につき184単位を所定単位数に加算する。
- 7 次のいずれかに該当する者に対して、介護老人保健施設短期入所療養介護費を支給する場合は、介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅱ)を算定する。

イ 感染症等により、従来型個室の利用の必要があると医師が判断した者

ロ 別に厚生労働大臣が定める基準に適合する従来型個室を利用する者

ハ 著しい精神症状等により、同室の他の利用者の心身の状況

定する。ただし、当該夜勤を行う職員の勤務条件に関する基準を満たさない場合は、所定単位数の100分の97に相当する単位数を算定する。なお、利用者の数又は医師、看護職員、介護職員、理学療法士若しくは作業療法士の員数が別に厚生労働大臣が定める基準に該当する場合は、別に厚生労働大臣が定めるところにより算定する。

- 3 (2)について、別に厚生労働大臣が定める施設基準を満たさない場合は、1日につき所定単位数の100分の97に相当する単位数を算定する。
- 4 別に厚生労働大臣が定める基準に適合しているものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設については、リハビリテーション機能強化加算として、1日につき30単位を所定単位数に加算する。
- 5 別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設において、日常生活に支障をきたすおそれのある症状又は行動が認められることから介護を必要とする認知症（法第8条第16項に規定する認知症をいう。以下同じ。）の利用者に対して指定短期入所療養介護を行った場合は、1日につき76単位を所定単位数に加算する。
- 6 利用者の心身の状態、家族等の事情等からみて送迎を行うことが必要と認められる利用者に対して、その居宅と指定短期入所療養介護事業所との間の送迎を行う場合は、片道につき184単位を所定単位数に加算する。
- 7 次のいずれかに該当する者に対して、介護老人保健施設短期入所療養介護費を支給する場合は、介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅰ)の介護老人保健施設短期入所療養介護費(ii)、介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅱ)の介護老人保健施設短期入所療養介護費(ii)又は介護老人保健施設短期入所療養介護費(Ⅲ)の介護老人保健施設短期入所療養介護費(ii)を算定する。

イ 感染症等により、従来型個室の利用の必要があると医師が判断した者

ロ 別に厚生労働大臣が定める基準に適合する従来型個室を利用する者

ハ 著しい精神症状等により、同室の他の利用者の心身の状況

に重大な影響を及ぼすおそれがあるとして、従来型個室の利用の必要があると医師が判断した者

- 8 指定施設サービス等介護給付費単位数表の規定により、注1及び注5の規定による届出に相当する介護保健施設サービスに係る届出があったときは、注1及び注5の規定による届出があったものとみなす。
- 9 利用者が連続して30日を超えて指定短期入所療養介護を受けている場合においては、30日を超える日以降に受けた指定短期入所療養介護については、介護老人保健施設における短期入所療養介護費は、算定しない。

(4)~(7) (略)

- 療養病床を有する病院における短期入所療養介護費
- (1) 病院療養病床短期入所療養介護費(1日につき)
- (一) 病院療養病床短期入所療養介護費(I)

に重大な影響を及ぼすおそれがあるとして、従来型個室の利用の必要があると医師が判断した者

- 8 指定施設サービス等介護給付費単位数表の規定により、注1及び注5の規定による届出に相当する介護保健施設サービスに係る届出があったときは、注1及び注5の規定による届出があったものとみなす。
- 9 利用者が連続して30日を超えて指定短期入所療養介護を受けている場合においては、30日を超える日以降に受けた指定短期入所療養介護については、介護老人保健施設における短期入所療養介護費は、算定しない。
- 10 (1)(二)及び(三)並びに(2)(二)及び(三)について、利用者に対して、指導管理等のうち日常的に必要な医療行為として別に厚生労働大臣が定めるものを行った場合に、特別療養費として、別に厚生労働大臣が定める単位数に10円を乗じて得た額を所定単位数に加算する。

※ 別に厚生労働大臣が定めるもの及び単位数

- 別紙4を参照。

- 11 (1)(二)及び(三)並びに(2)(二)及び(三)について、別に厚生労働大臣が定める施設基準に適合しているものとして都道府県知事に届け出た介護老人保健施設である指定短期入所療養介護事業所については、療養体制維持特別加算として、1日につき27単位を所定単位数に加算する。

※ 別に厚生労働大臣が定める施設基準

- 介護職員を4:1で配置していること。
- 転換前、介護職員を4:1で配置していたこと。
- (今後、利用者の介護ニーズについて実態を把握し、介護療養型医療施設からの転換が終了する平成24年4月以降の対応を検討する。)

(4)~(7) (略)

- 療養病床を有する病院における短期入所療養介護費
- (1) 病院療養病床短期入所療養介護費(1日につき)
- (一) 病院療養病床短期入所療養介護費(I)

a	病院療養病床短期入所療養介護費(i)	
i	經過的要介護	534單位
ii	要介護1	701單位
iii	要介護2	811單位
iv	要介護3	1,049單位
v	要介護4	1,150單位
vi	要介護5	1,241單位
b	病院療養病床短期入所療養介護費(ii)	
i	經過的要介護	618單位
ii	要介護1	832單位
iii	要介護2	942單位
iv	要介護3	1,180單位
v	要介護4	1,281單位
vi	要介護5	1,372單位
(二)	病院療養病床短期入所療養介護費(II)	
a	病院療養病床短期入所療養介護費(i)	
i	經過的要介護	498單位
ii	要介護1	641單位
iii	要介護2	750單位
iv	要介護3	910單位
v	要介護4	1,066單位
vi	要介護5	1,108單位
b	病院療養病床短期入所療養介護費(ii)	
i	經過的要介護	582單位
ii	要介護1	772單位
iii	要介護2	881單位
iv	要介護3	1,041單位
v	要介護4	1,197單位
vi	要介護5	1,239單位
(三)	病院療養病床短期入所療養介護費(III)	
a	病院療養病床短期入所療養介護費(i)	
i	經過的要介護	473單位
ii	要介護1	611單位
iii	要介護2	722單位
iv	要介護3	873單位

a	病院療養病床短期入所療養介護費(i)	
i	經過的要介護	534單位
ii	要介護1	701單位
iii	要介護2	811單位
iv	要介護3	1,049單位
v	要介護4	1,150單位
vi	要介護5	1,241單位
b	病院療養病床短期入所療養介護費(ii)	
i	經過的要介護	618單位
ii	要介護1	832單位
iii	要介護2	942單位
iv	要介護3	1,180單位
v	要介護4	1,281單位
vi	要介護5	1,372單位
(二)	病院療養病床短期入所療養介護費(II)	
a	病院療養病床短期入所療養介護費(i)	
i	經過的要介護	498單位
ii	要介護1	641單位
iii	要介護2	750單位
iv	要介護3	910單位
v	要介護4	1,066單位
vi	要介護5	1,108單位
b	病院療養病床短期入所療養介護費(ii)	
i	經過的要介護	582單位
ii	要介護1	772單位
iii	要介護2	881單位
iv	要介護3	1,041單位
v	要介護4	1,197單位
vi	要介護5	1,239單位
(三)	病院療養病床短期入所療養介護費(III)	
a	病院療養病床短期入所療養介護費(i)	
i	經過的要介護	473單位
ii	要介護1	611單位
iii	要介護2	722單位
iv	要介護3	873單位